

## 下関市夜間景観形成基本方針（案）の概要

近年、都市化に伴う夜間の生活時間の増大といったライフスタイルの変化により、景観形成を考える上で、夜間景観形成の重要度は高まっている。景観照明などの光の演出は、地域の個性やにぎわいを生み出すことにつながってだけでなく、優れた夜間景観は、市民が快適に生活するための都市環境上の重要な要素の一つであり、市民がまちに愛着を持ち、来街者が再び訪れたいと思う契機ともなっている。

本方針（案）は、本市における景観形成推進の基本となる都市景観形成基本計画、関門景観基本構想及び関門景観形成指針等を踏まえ、昼間の景観だけでは気づけなかったまちの魅力を再発見し、又、新たな魅力を創出させ、下関らしい夜間景観を形成するために、昨年度行った夜間景観に関する調査に基づきまとめたものである。

### 1. 夜間景観基本方針

#### 夜間景観照明の3つの視点

- 「生活」・・・人々の日常の生活を支える照明であることを基本とし、特に犯罪や事故に対する安全確保は重要で、また、人と街に活気をもたらす効果についても考慮する。
- 「景観」・・・建物や橋などの構造物を、昼間の景観では気づけなかった魅力を光によって引き出すだけでなく、その街らしさや歴史を表現し個性ある景観をつくりだす。
- 「共生」・・・美しい景観をつくる上でも無駄と思われる光は減らし、必要と思われる光もそのデザインや配光、効率に配慮し、できるだけ上空への飛散を抑え環境への配慮と省エネルギーを実現する。

#### 下関市における夜間景観形成

##### 「光の回廊」

下関駅～唐戸～長府へと連なるルートは、歴史的にも建築的にも重要な建造物や遺構などが多く集まっており、夜間景観形成上も重要な軸であるため、当該ルートを「光の回廊」と定める。

##### 「光のまちづくり」

波及効果の高い夜間景観形成を進めるため、唐戸を中心とした「光の回廊」から周辺部へと光のエリアを広げていく。

##### 「デザインコンセプト」

夜間景観形成におけるデザイン作成の考え方

- 歴史：下関の多彩な歴史を大切にする。
- 文化：歴史が育んだ文化を強調する。
- 景観：海と山に近い、豊かな自然を際立たせる。
- 生活：人々の暮らしが向上する照明とする。
- 普遍：省エネルギーをふまえ、維持管理のしやすい計画とする。

#### 夜間景観形成のテーマ

##### 「下関夜景創造 千年・明り物語」

- ・ 豊かな歴史性、文化性をふまえ、下関市の魅力を発信できるものとする。
- ・ 門司地区との海峡連携という新しい交流の試みを増幅させより多くの集客を図る。
- ・ 市の目標とする都市像である「自然と歴史と人が織りなす交流都市 ～自然と人、人と人、ふれあいで輝く共創のまちづくりを目指して～」と「歴史の1000

年舞台・下関」を基調とした夜間景観を創る。

## 2. 整備対象

夜間景観形成のテーマをより早く現実に近づけられ、最も下関らしさを表現することのできる「歴史的建造物」、「新整備施設」を整備の対象とする。また、下記の他、夜間景観形成にあたり、効果が高いと思われる民間施設についても、所有者の理解を得た上で順次整備を推進することとする。

### エリア別整備対象

#### a. 下関市街・唐戸エリア

No.	整備対象	種類	時代	西暦	所有者	規模	夜間景観上の 重要度	歴史・文化上の 重要度	備考
a-1	大歳神社 鳥居（白石正一郎寄進）	神社	江戸	1962年	民間	小	A		ライトアップ整備予定
a-2	大歳神社 階段	神社	大正	1918年	民間	中	A		ライトアップ整備予定
a-3	大歳神社 鳥居（社殿前）	神社	大正	1918年	民間	小	A		ライトアップ整備予定
a-4	大歳神社 社殿	神社	大正	1918年	民間	小	B		ライトアップ整備予定
a-5	旧下関英国領事館	歴史的建造物	明治	1906年	市	中	A		ライトアップ整備予定
a-6	山口銀行旧本店	歴史的建造物	大正	1920年	民間	中	B		既施工
a-7	あるかばーと広場等	広場等	平成	1996年	市	大	A		
a-8	下関市役所第1別館	歴史的建造物	大正	1923年	市	中	B		
a-9	旧内務省下関土木出張所乾船渠	歴史的建造物	大正	1914年	市	中	A		
a-10	みもすそ川公園 既設砲台	像、彫刻	江戸	1864年	市	小	B		
a-11	みもすそ川公園 キャノン砲レプリカ	像、彫刻	江戸	1864年	市	小	B		
a-12	日清講和記念館	歴史的建造物	昭和	1934年	市	中	B		
a-13	下関南部町郵便局	歴史的建造物	明治	1900年	国	中	A		
a-14	旧秋田商会	歴史的建造物	大正	1915年	市	中	A		

#### b. 長府エリア

No.	整備対象	種類	時代	西暦	所有者	規模	夜間景観上の 重要度	歴史・文化上の 重要度	備考
b-1	長府毛利邸 入口石壁	歴史的建造物	明治	1903年	市	中	A		
b-2	長府毛利邸 表門	歴史的建造物	明治	1904年	市	小	A		

#### c. 彦島・巖流島エリア

No.	整備対象	種類	時代	西暦	所有者	規模	夜間景観上の 重要度	歴史・文化上の 重要度	備考
c-1	巖流島 決闘の浜	島	江戸	1612年	市 / 民間	大	A		
c-2	巖流島 園路他	島	江戸	1612年	市 / 民間	大	A		
c-3	巖流島 島の外周（水際）	島	江戸	1612年	市 / 民間	大	A		

#### d. 下関駅周辺エリア

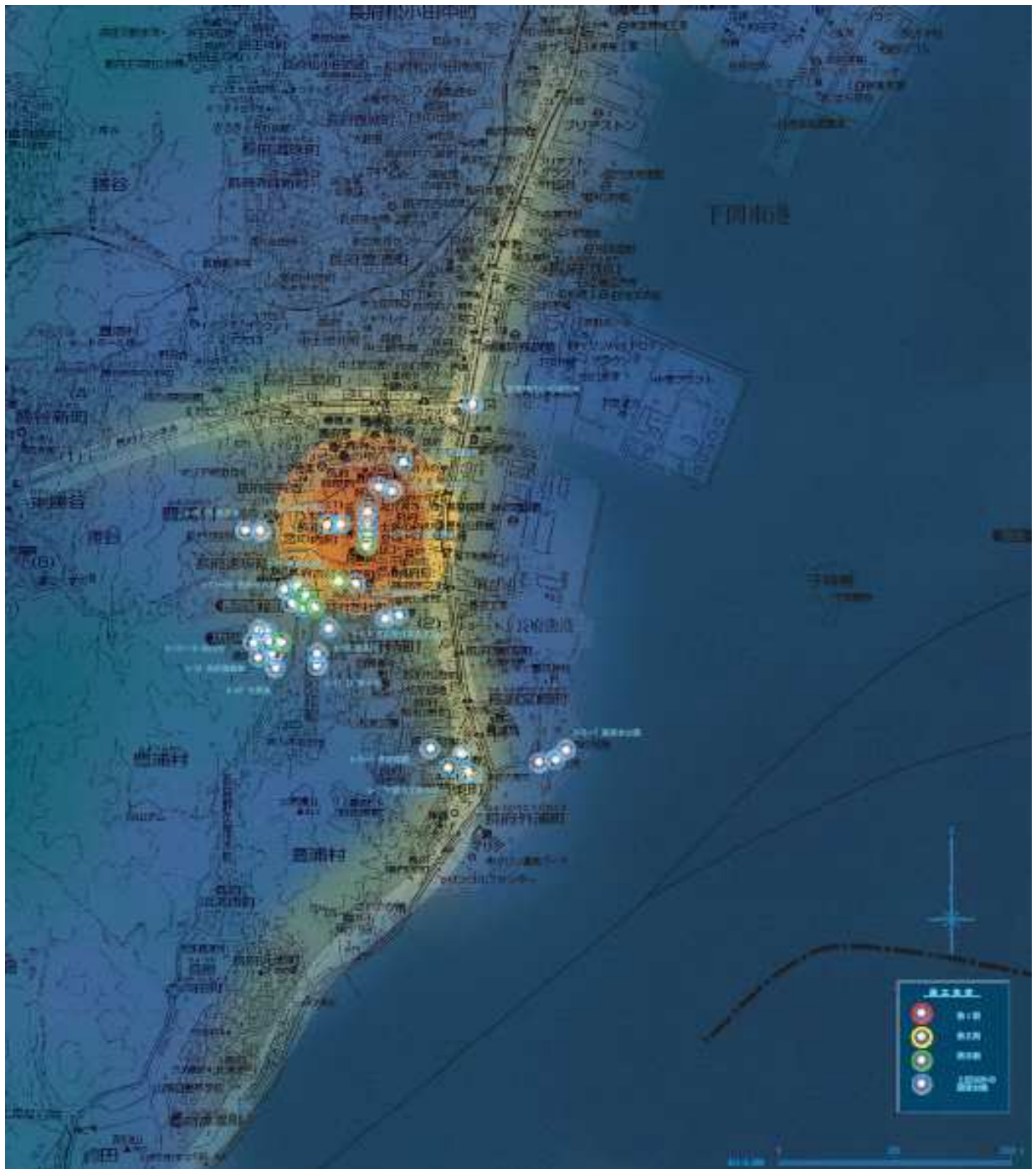
No.	整備対象	種類	時代	西暦	所有者	規模	夜間景観上の 重要度	歴史・文化上の 重要度	備考
d-1	下関駅 モニュメント	モニュメント	平成	1995年	市	中	A		
d-2	下関駅 ペDESTリアンデッキ	建築物	平成	1995年	市	大	B		
d-3	国道9号高架下	高架下	昭和	1942年	国 / 民間	中	B		

## 整備イメージ

a. 下関市街・唐戸エリア / c. 彦島・巖流島エリア / 下関駅周辺エリア



b.長府エリア



### 3. 夜間景観整備計画

#### 整備の進め方

整備対象施設の選定にあたっては、夜間景観上の重要度や地理的な配置、整備対象相互の関連性などを総合的に検討する。整備に際しては、より効果の高い整備対象施設から順次時間を追って実施していくことにより、実施物件が年々増えて、夜間景観エリア（あかり）が次第に広がっていくようになる。

なお、夜間景観形成にあたっては、効果が高いと思われる民間施設についても所有者と協議を進めながら積極的にライトアップを推進していくこととする。

又、ソフト面では、点灯式やシンポジウム等を開催することにより、市民に下関らしい夜間景観を考える場を提供したり、パンフレットやHPを作成することにより、夜間景観形成に対する市民意識の啓発を図る等、積極的なPRに努めることとする。

#### 整備推進体制

夜間景観形成を一体的かつ重点的に推進するため、庁内関係部局との連携を強化するとともに、歴史的建造物等の所有者、観光協会、及び民間開発業者・設計業者等との協力体制を構築し、整備対象である「歴史的建造物」及び「新整備施設」の効果的かつ継続的なライトアップ整備を実施する。